

# 大間原発キッパリ建設中止を

## 紙智子参議が現地視察



紙智子参議院議員は28日、建設中の青森県の大間原発を視察するとともに、大間町に隣接する風間浦村長と懇談、建設中止を訴える「あさこはうす」の小笠原厚子さんを激励しました。大間原発は福島第一原発の事故後に中断の建設工事を昨年10月に再開しました。紙智子議員は、建設中のプラントの説明を受け、工事中の冷却水の取水口、放水口などを視察。フルMOXの原子炉の特殊性や事業計画を質問。視察後紙智子議員は、「安全指針も策定できず、活断層の危険性も指摘され検証もされない中で、建設工事を進めることは許されません。キッパリ中止を求めていく」と語っています。風間浦村の村長は、「原発推進の立場」と言いながらも「事故時の避難道整備がいつこうに進まず置き去りにされたように感じる。住民を守ることが私の役割」と語り、避難道整備を要望しました。



紙智子議員は4月6日、函館で開催のシンポジウムで、この視察結果などを報告する予定です。

4月6日に

### 紙智子議員も参加してシンポジウム

「海とともにいきる函館で、どう大間原発に立ち向かうか」

- 会場は函館市芸術ホール ○開会は14:00
- 紙智子参議院議員 ○水戸 保さん・元戸井町教育長
- 鈴木明広さん・福島避難者ネットワーク函館代表

パネリスト

函館地区委員会と渡島檜山地区委員会が成功させようと準備しています。幅広い人に案内をしており、七飯町長、元戸井町長はじめ幅広い方から期待の声が寄せられています。

### 消費税増税ストップを！ 道内各地でいっせい宣伝

4月1日、消費税廃止各界連絡会は、札幌中心街で街頭宣伝を行ない、ビラを配布し、署名を訴えました。北商連、道年金者組合の代表とともに、日本共産党の畠山和也道副委員長がマイクを握って、「家計には巨額の増税と社会保障の負担増をおしつけをやめさせましょう」とよびかけました。



日本共産党国会議員団北海道事務所ニュース 2013・4・4 4月 no.2

札幌市中央区南1条東4丁目 ☎011・261・0786 FAX011・251・5408 E-mail: jcphkd@jcphkdbl.gr.jp